平成23年度当初予算　予算要求シート

整理番号　11 － 063　　局･課名／　健康福祉局　障害福祉課　　（単位　千円）

事　業　名	授産製品の開発支援
関連事業	授産製品販売促進補助

	平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額
事　業　費	10,382	12,163	12,163
事業期間	H16～	全体事業費	

事業目的

障害者の自立と社会参加を促進する目的で授産活動の活性化を希望する障害者施設等に対して経営指導員及び技術指導員を派遣し、授産製品の質を向上させる。

今年度要求のポイント

障害者の手作り製品は全行程を覚えるまでに途方もない時間がかかっており、新製品を開発するためには、専門家の指導により工程を細分化するなどの工夫が必要である。また、福祉施設は経営のノウハウを持たないため専門家の支援は不可欠である。この事業では、定年退職した専門家が指導にあたっており、高齢者及び団塊の世代が持つ幅色い専門知識を福祉施設が受け継いでいる。

事業内容

（１）　対象施設に対し、経営指導員を毎月１回派遣し経営指導を実施すると共に、作業科目に見合った技術指導員を毎月１回派遣し、授産製品を製作するための技術を向上させる。
（２）　実施の報告、対象施設の選定、事業の進捗状況の管理及びその他の必要事項について協議するため、定期的に市及び関係諸機関との連絡会議を開催する。
（３）　授産製品の販売を促進するため、バザー会場などにおいて現地指導を実施する。
（４）　市内の障害者施設等に対して、授産事業に関連した研修会を開催する。

主な要求内容

（単位：千円）

項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等
授産製品の開発支援	12,163	12,163	
合計	12,163	12,163	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～22年度】
16年度　支援開始
すべての施設において、障害者の月額工賃が増加。

【23年度】
動線を考えた販売場所の設定や、看板などの支援も新たに行い、売場づくりやパッケージングの見直しなど商品以外の工夫にも力を入れていく。

【今後（～24年度】
月額工賃倍増だけでなく、障害者の社会参加も目的の1つであるので、1人でも多くの障害者が何かの作業に関われるように作業工程の工夫なども行う。

その他　特記事項